

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> ：一般国道8号 <small>にゅうぜんくろべ</small> 入善黒部バイパス	<b>事業区分</b> ：一般国道	<b>事業主体</b> ：国土交通省 北陸地方整備局
<b>起終点</b> ：自：富山県下新川郡入善町 <small>しもにいかわ にゅうぜんまちくぬぎやま</small> 桐山 至：富山県魚津市 <small>うおづしえぐち</small> 江口	<b>延長</b> ：16.1km	
<b>事業概要</b> ：一般国道8号は、新潟市から京都市に至る延長約560kmの主要都市及び拠点間を結ぶ重要な幹線道路であるほか、地域の社会経済活動を支える重要な路線である。入善黒部バイパスは、富山県東部における広域幹線道路ネットワークを構成する、約16.1kmの4車線道路である。		
H2年度事業化	H2年度都市計画決定	H5年度用地着手
H6年度工事着手		
全体事業費	約670億円	事業進捗率
計画交通量	22,000～38,000台/日	供用済延長
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 3.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 327/ 628億円 (事業費：282/ 584億円) (維持管理費：45/ 45億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体)	1,003/ 1,133億円 (走行時間短縮便益：978/1,101億円) (走行費用減少便益：3/ 10億円) (交通事故減少便益：21/ 22億円)	基準年 平成16年
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他8項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 入善黒部バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、魚津市市をはじめとする3市2町の首長で構成される一般国道8号朝日滑川間国道建設期成同盟会より早期整備の要望（平成16年11月25日）を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 交通量の増大により沿道環境の悪化、交通混雑が深刻化している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 入善町東狐～黒部市古御堂間（L=3.2km）を暫定2車線供用しており、地元合意のもと用地買収も38%を終了している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 入善町上野～同町東狐間（L=3.5km）については平成18年度に暫定車線供用する予定であり、残る区間については交通状況を勘案しつつ引き続き全線暫定2車線供用を目指す。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 新技術、コンクリート構造物の大型化（長尺化）、プレキャスト製品の積極的な活用、建設発生土の有効利用、再生材を利用した舗装、路盤工の活用により、コスト縮減を考慮している。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。